

対キルギス共和国 事業展開計画

2024年 4月 現在

基本方針 (大目標)	持続的かつ均衡のとれた経済成長への支援
---------------	---------------------

重点分野 1 (中目標)	産業育成と雇用の創出												
開発課題 1-1 (小目標) 農畜産品・農畜産加工品の輸出促進	【現状と課題】 農・畜産業は就労人口の17.4%(2022年)及びGDPの11%(2023年)を占めるキルギスの重要な産業である。こうした中、老朽化した灌漑施設や農業機械、不適切な農業や肥料の利用等により、生産性が上がらず成長のエンジンにすることができていないほか、これが貧困や地域間格差の拡大につながっている。					【開発課題への対応方針】 農業競争力を高め、輸出産業促進を図るべく、生産基盤の強化による生産性向上や、キルギスのEEUの加盟によってより重要性の増している品質検査及び動植物検疫に取り組む。主要輸出先市場を見据え、近隣諸国に対して比較優位性が高く輸出競争力のある製品について、生産管理面も含めた農畜産品の質の向上にも配慮しつつ、農家の生計向上や雇用促進に資する農業を推進していく。							
	協カプログラム名	案件名	スキーム	実施期間						支援額 (億円)	SDGs	備考	
				2023 年度 以前	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度				
		乳および乳製品の衛生管理改善アドバイザー	個別専門家									2	
		野菜に関連するクラスターアプローチを通じたバリューチェーン構築マスタープランプロジェクト	開発計画調査型技協									2	
		農産品輸出促進のための植物検疫職員能力強化	国別研修									2	
		灌漑水路維持管理機材整備計画	無償							11.00		2	
		農業開発・農業開発分野の課題別研修	課題別研修他									2	
		農業分野の草の根技協	草の根技協									2	
		農業生産支援・地域経済活性化分野のJICA海外協力隊	JOCV										
	脆弱層に対する食糧支援を通じた自立支援計画	無償							5.19	2.17		WFP連携	

開発課題 1-2 (小目標) 産業振興・中小企業振興	【現状と課題】		【開発課題への対応方針】										
	ロシア等への出稼ぎ労働や、金鉱業、農畜産物等の一次産品に依存する経済構造であることから、出稼ぎ先の景気や商品価格に左右されやすい状況にある。また、都市部と地方（特に南部）との格差が拡大しているほか、現代的・市場志向型のノウハウやビジョンを持つ経営者、企業に対する官民の支援人材が依然として不足していることが、より持続性の高い経済成長を目指す上で問題となっている。		日本人材開発センター等を活用し、ビシュケクをはじめ地方拠点都市においても、軽工業、農畜産品加工、観光業を含むサービス業、IT産業等の発展及び外資企業とのリンケージ促進のために、実践的なビジネス人材育成を行う。また、一村一品のアプローチを継続し、特に地方での新規産業の育成、雇用の確保、生計向上に資する協力を推進する。										
	協力プログラム名	案件名	スキーム	実施期間						支援額 (億円)	SDGs	備考	
				2023 年度 以前	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度				
産業振興・中小企業振興 プログラム		キルギス共和国日本人材開発センター・ビジネス人材育成・交流拠点機能強化プロジェクト	技プロ	■	■	■				4.83	8		
		整備工具の供給と整備に係る教育体制確立による既存アセット有効活用のためのニーズ確認調査	ニーズ確認調査	■	■						8		
		中央アジア(広域)における一村一品アプローチモデルの策定にかかる情報収集・確認調査	基礎情報収集	■							8		
		一村一品運動を通じた中央アジアにおける地場産業振興プロジェクト	技プロ	■	■	■				4.39	8		
		チュイ州世界遺産を活用した地域開発・観光促進プロジェクト	開発計画調査型技協	■	■	■				4.94	8		
		アジア地域投資促進・産業振興クラスター留学プログラム	長期研修	■	■	■					8		
		民間セクター開発分野の課題別研修	課題別研修他	■	■						8		
		観光、産業人材分野の海外協力隊	JOCV	■	■	■	■	■	■		8		
	開発課題 1-3 (小目標) 産業多角化に資する インフラ整備	【現状と課題】		【開発課題への対応方針】									
キルギスにおける旅客・貨物輸送の95%は道路に依存し、また、国土の90%以上が山岳地域であることから、道路・航空インフラが重要な移動・交易手段である。こうした中、これらのインフラの老朽化が進み改修が必要な状況にある。また、電力インフラの老朽化が進んでいるほか、電力関連企業の慢性的な財政赤字と相まって、電力の供給が不安定な状況にある。		インフラの整備は、産業の成長・多角化及び輸出能力の向上を図る上での基盤であるところ、キルギス関係省庁による整備計画や他ドナーの動向を踏まえながら、日本の技術・経験・ノウハウを活かした資金協力および技術協力を行う。また、日本の技術・経験・ノウハウに精通し自国の自然・気象条件に応じた制度設計や技術開発を担う人材を育成する。											
協力プログラム名		案件名	スキーム	実施期間						支援額 (億円)	SDGs	備考	
				2023 年度 以前	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度				
インフラ整備プログラム			レーダーベクタリング/速度調整、飛行方式設計に関する航空管制官等の訓練プロジェクト	技プロ		■	■	■	■		2.00	9	
			ビシュケク-オシュ道路ナリン川橋梁架け替え計画準備調査	協力準備調査		■	■					9	
			カスピ海ルートにおける通関所要時間調査(TRS)及び税関のリスク管理能力向上【補正予算分】	第三国研修		■	■					9	
			コンクリート舗装技術	国別研修	■	■						9	
			省力型全天候舗装補修材エクセルのビジネス化実証事業	ビジネス化実証事業	■	■						9	
			国際空港管制施設整備計画	無償	■	■	■	■			21.53	9	
			バトケン州における道路維持管理及び舗装機材整備計画	無償	■	■	■				7.00	9	
			国際幹線道路改善計画	有償	■	■	■				119.15	9	
			ビシュケク-オシュ道路雪崩対策計画	無償	■	■					10.34	9	
			タラス-タラス道路ウルマル川橋梁架け替え計画	無償	■	■					17.85	9	
		運輸交通分野の課題別研修	課題別研修他	■	■						9		
		電力流通整備技術訓練センター強化計画	協力準備調査		■						9		

開発課題 2-1 (小目標) ガバナンス・政策立案・実施能力向上	【現状と課題】 日本の人材育成及びガバナンス能力の向上に係る協力はキルギス政府側から高い評価を受けており、特に、「人材育成奨学計画（JDS）」による日本での留学を終えた多数の卒業生が政府幹部を務め、指導者として活躍している。一方で、依然として、汚職、低い給与水準、説明責任・透明性の低さ等の課題を抱えている。		【開発課題への対応方針】 公務員のガバナンス・政策立案や実施能力向上のため、個々の公務員人材の質の向上や情報通信技術を活用した行政システムの効率化等を通じ、行政サービスを改善する。特に、以前からキルギス政府の評価が高く、中核人材の育成に貢献しているJDSを継続・拡大する。														
	協カプログラム名	案件名	スキーム	実施期間						支援額 (億円)	SDGs	備考					
				2023 年度 以前	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度								
開発課題 2-1 (小目標) ガバナンス・政策立案・実施能力向上	人材育成を通じた政策立案・実施能力向上プログラム	数学教員向け教育サービスならびに学カテストサービスにかかるニーズ確認調査	ニーズ確認調査														
		SDGsグローバルリーダー(2023年度)	長期研修														
		人材育成奨学計画(R2)	無償									3.05					
		人材育成奨学計画(R3)	無償									3.01					
		人材育成奨学計画(R4)	無償									3.23					
		人材育成奨学計画(R5)	無償									3.24					
		人材育成奨学計画(R6)	無償									3.42					
		法務司法分野における日キルギス共同研究(2024年度)	法務省技協											16			
		サイバーセキュリティ能力強化	国別研修														
		教育・青少年育成分野のJICA海外協力隊	JOCV														
		ガバナンス分野の課題別研修	課題別研修他														
開発課題 2-2 (小目標) 社会サービスの向上	社会セクター強化プログラム	衛星データを用いた大気汚染評価システムの開発と大気汚染および室内空気汚染対策に関する新拠点の形成(SATREPS)	技プロ									3.50	3				
		非感染性疾患の早期発見・早期治療のためのパイロットリアル体制強化プロジェクト	技プロ									3.73	3				
		医療分野の国別研修	国別研修											3			
		ビシュケク市およびチュイ州医療機材整備計画	無償									10.00	3				
		ビシュケク市三次病院医療機材整備計画準備調査	協力準備調査										3				
		ビシュケク市三次病院医療機材整備計画	無償									15.00	3				
		医療・保健分野の長期研修	長期研修											3			
		薬剤師継続教育及び国家試験開発事業普及・実証・ビジネス化事業	普及・実証・ビジネス化事業												3		
		保健医療・福祉、社会的弱者支援分野のJICA海外協力隊	JOCV												3		
		草の根・人間の安全保障無償資金協力	草の根無償										0.52	3,4			

開発課題 3-1 (小目標)	【現状と課題】 中央アジアは、テロ・麻薬対策、防災、水資源、環境保護等の地域共通の課題を抱えており、その解決には人間の安全保障の理念に基づいた地域横断的協力を必要とする。		【開発課題への対応方針】 日本は2004年に立ち上げた「中央アジア+日本」対話の枠組みを活用し、中央アジアの開かれ、安定し、自立的な発展を支え、地域協力の発展のための「触媒」としての役割を引き続き果たしていく。また、国際機関ドナーと連携し、アフガニスタン等の周辺地域を含むより広い地域内協力を促進し、国際社会の安定に貢献する。									
	協力プログラム名	案件名	スキーム	実施期間						支援額 (億円)	SDGs	備考
				2023 年度 以前	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度			
	地域内協力の促進	環境・防災プログラム	第二次バッタ管理対策改善計画	無償							7.98	2
		中央アジア・コーカサス総合防災行政	課題別研修他									
		気候及び災害リスクに対する児童の強靱性向上計画	無償							4.38	4.13	UNICEF連携
	国境管理能力向上プログラム	中央アジアにおける国境連絡事務所の能力強化による域内越境能力強化計画(フェーズ2)	無償							4.71	16	UNODC連携 (中央アジア5カ国対 象)

【凡例】 「協準」(=全ての協力準備調査)、「詳細設計」(=詳細設計)、「基礎情報調査」(=基礎情報収集・確認調査)、「技プロ」(=技術協力プロジェクト)、「開発計画」(=開発計画調査型技術協力)、「個別専門家」(=個別機材)、「個別研修」(=課題別研修及び青年研修、長期研修)、「JOCV」(=JICA海外協力隊)、「第三国専門家」(=第三国専門家)、「現地国内研修」(=科学技術協力(技プロ型及び個別専門家型、SATREPS))、「草の根技協」(=草の根技術協力)、「〇〇省技協」(=外務省・JICA以外の省庁及び独立行政法人等が実施している技術協力)、「民間提案型技協」(=開発途上国の社会・経済開発のための民間技術普及促進事業)、「SDGs調査」(=途上国の課題解決型ビジネス(SDGsビジネス)調査)、「無償」(=以下に特記するサブ・スキームを除く全ての無償資金協力)「食糧援助」(=食糧援助)、「一般文化」(=一般文化無償資金協力)、「草の根文化」(=草の根文化無償資金協力)、「緊急無償」(=緊急無償資金協力)、「日本NGO」(=日本NGO連携無償資金協力)、「草の根無償」(=草の根・人間の安全保障無償資金協力)、「有償」(=円借款、海外投融資)、「マルチ」(=国際機関等を通じた多国間協力はスキーム)、「基礎調査」(=中小企業・SDGsビジネス支援事業「基礎調査」)、「案件化調査」(=中小企業・SDGsビジネス支援事業「案件化調査」)、「普及・実証・ビジネス化事業」(=中小企業・SDGsビジネス支援事業「普及・実証・ビジネス化事業」)、「ニーズ確認調査」(=中小企業・SDGsビジネス支援事業「ニーズ確認調査」)、「ビジネス化実証事業」(=中小企業・SDGsビジネス支援事業「ビジネス化実証事業」)、「実線「――」」(=実施期間)、「破線「---」」(=実施予定期間) ※この凡例にない略語を使用する場合は凡例に当概略語を記載したうえで使用する。

【SDGsゴールの説明】 1「貧困」、2「飢餓」、3「保健」、4「教育」、5「ジェンダー」、6「水・衛生」、7「エネルギー」、8「経済成長と雇用」、9「インフラ、産業化、イノベーション」、10「不平等」、11「持続可能な都市」、12「持続可能な消費と生産」、13「気候変動」14「海洋資源」、15「陸上資源」、16「平和」、17「実施手段」

【SDGsの詳細】 https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sdgs/pdf/sdgs_pamphlet.pdf